CSR報告書 2021

環境型社会への貢献



本レポートは、ステークホルダーの皆様に当社の事業活動をご理解いただくために2016年から作成しております。この1年も新型コロナウイルス感染症により、一部事業活動の変更が余儀なくされていますが、社会へ与える影響に責任を持ち事業を停滞させることのないよう企業活動を推進しております。それらを含め本「CSR報告書2021」を作成しておりますので、ぜひ本報告書をご覧いただき、なお一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 社長挨拶



2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症は、 依然として感染拡大が続いており、経済活動が制限され昨年来延期されていた東京オリンピック・パラリン ピックも条件付きでの開催となり、コロナウイルスの 影響は図り知れないものがあります。一日も早いワク チン接種の完了及び治療薬開発による感染の終息を期 待するところです。当社においても、感染防止対策を 実施するとともに、業務の効率化を図ることで社員が 感染したとしても事業への影響を最小限に留めるよう 努めてまいりました。また、建設業界においては、デ ジタル化、オンライン化が進まなかった事業領域であ りましたが、当社においても今回の感染症を引き金に

ワークスタイルの多様化、及びICTの活用に向けた積極的な取り組みを加速させております。

このような環境の中で、当社は今年度(第77期)第十次中期事業計画(2021~2023年度)を策定し、「業務効率化と技術力向上により環境変化に対応し生産性向上を図ろう」を合言葉に、将来にわたり堅実に事業を継続していくため、以下の3つの基本方針のもと、企業体質の変革・強化に全社員一体となり取り組むこととしました。

- 1. 個人が働きがいを感じる会社になる
- 2. 多様なプロジェクトに挑戦する
- 3. 社会から認められ、お客様から選ばれる会社になる

私たちの目の前には、従前からの大きな課題である、少子高齢化による技能労働者不足や、地球温暖化による激甚災害なども山積みされています。そのような中でも当社は、長期的に事業を継続し、社会の持続的発展に貢献するため、人と環境を大切にし優れた技術力・創造力により環境型社会に貢献するとともに、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、持続可能な魅力ある企業を目指すことをCSRの基本方針に掲げ、皆様の信頼に応える企業活動に努めてまいります。

そして、今後もお客様満足度の向上に努めるとともに、企業としての社会的信用や 存在価値を高め、更なる発展に努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力を 賜りますようお願い申し上げます。

2. 会社概要

社 名:株式会社 第一ヒューテック

本社住所:東京都新宿区四谷1丁目23番地

代表者:代表取締役社長 島谷聡

設 立:1949年(昭和24年)4月1日

資本金:1億円

完 工 高:100億12百万円 (2020年度)

従業員数:153名(2021年4月1日現在)

事業内容:(1)土木、建築ならびに附帯設備工事の請負

(2) 土木、建築ならびに附帯設備工事の設計工事監理

(3)土地、建物、工作物の売買、賃貸借ならびに仲介

(4) 電話機等の通信機器類の取付および販売

(5)保険募集取締法に基づく、損害保険代理業務

(6)前各号に附帯する一切の業務

事業所:本社、名古屋支店、東北支店、九州支店、関西支店、東京営業所 埼玉営業所、千葉営業所、神奈川営業所、山形営業所、熊本営業所

許 可:特定建設業 国土交通大臣許可(特-29)第969号

建築工事業 大工工事業 左官工事業 とび・土工工事業

石工事業 屋根工事業 電気工事業 管工事業 鋼構造物工事業

鉄筋工事業 板金工事業 タイル・れんが・ブロック工事業

塗装工事業 防水工事業 建具工事業 ガラス工事業 内装仕上工事業

解体工事業 熱絶縁工事業

宅地建物取引業 東京都知事(4)第81891号

登 録:一級建築士事務所 東京都知事登録 第49148号

愛知県知事登録 (い) 第9371号 宮城県知事登録 第17910129号 福岡県知事登録 第1-61660号

ISO認証: ISO9001 (認証範囲:建築物の設計、工事監理及び施工)

参加団体:一般社団法人東京建設業協会

公益社団法人東京都宅地建物取引業協会

公益社団法人日本ファシリティマネジメント推進協会

U R L: https://www.hutecc.jp

3. 第一ヒューテックの歩み

1949年	(昭和24年)	第一建築株式会社設立 日本建築史にその名を残した山田 戦後の逓信建築施設復旧計画に紹 の基礎を築く。 従業員19人による第一建築株式会	合った数々の工事を行い現在
1956年	(昭和31年)	本社ビル竣工、移転	東京都新宿区四谷
1972年	(昭和47年)	名古屋営業所(現支店)開設	愛知県名古屋市千種区内山
1974年	(昭和49年)	千葉出張所(現営業所)開設	千葉県千葉市登戸町
1976年	(昭和51年)	仙台営業所(現東北支店)開設	宮城県仙台市清水小路
1977年	(昭和52年)	第一機材株式会社設立	東京都東村山市秋津町
1978年	(昭和53年)	福岡出張所(現九州支店)開設	福岡県福岡市博多区博多駅前
1981年	(昭和56年)	熊本営業所開設	熊本県熊本市安政町
1986年	(昭和61年)	第一機材株式会社吸収合併	
1987年	(昭和62年)	本社新社屋竣工	
1994年	(平成 6年)	株式会社エス・イー設立	東京都新宿区四谷
1999年	(平成11年)	関西支店開設 埼玉出張所(現営業所)開設 山形出張所(現営業所)開設	大阪府大阪市中央区南新町 埼玉県さいたま市南区文蔵 山形県山形市下条町
2002年	(平成14年)	株式会社第一ヒューテックへ社名	台変更
2003年	(平成15年)	神奈川営業所開設	神奈川県横浜市中区野毛町
2006年	(平成18年)	東京営業所開設	東京都新宿区四谷
2019年	(令和元年)	創立70周年	

【現在の事業所所在地】

本 社	160-0004 東京都新宿区四谷1-23
名古屋支店	460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル
東北支店	984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路6-1 東日本不動産仙台ファーストビル
九州支店	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル
関 西 支 店	541-0059 大阪府大阪市中央区博労町2-6-7 大バスビル心斎橋
東京営業所	160-0004 東京都新宿区四谷1-23
埼玉営業所	336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵1-2-1 三協ビル
千葉営業所	262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷1-11-26 リビエール本郷202

神奈川営業所 231-0064 神奈川県横浜市中区野毛町2-81 キャッスル桜木201

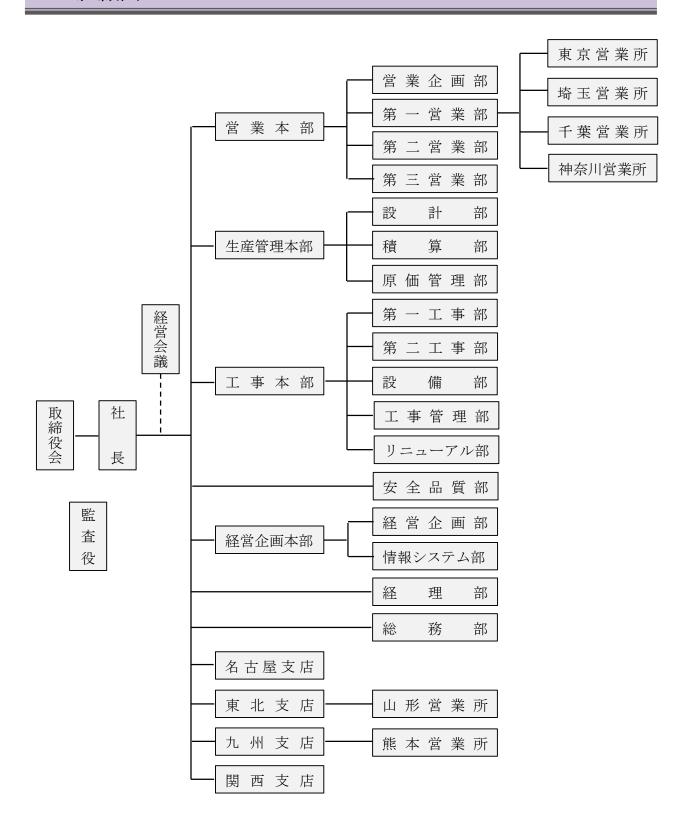
山形営業所 990-0823 山形県山形市下条町2-15-1

熊本営業所 860-0806 熊本県熊本市中央区花畑町2-15 NTTコム熊本ビル

【関連会社所在地】

㈱エス・イー 160-0004 東京都新宿区四谷1-23

4. 組織図



5. 企業理念、経営方針とCSR基本方針

企業理念

誠実・迅速・正確な仕事でお客さまの信頼に応えます 優れた技術で、人と環境に優しい社会の創造に貢献します 目標を持ち、生き甲斐のある企業を目指します

経営方針

誠実が信条 安全が基本 迅速が第一 資格の取得、技術の向上 変化への対応

CSR基本方針

第一ヒューテックは、人と環境を大切にし、優れた技術力・創造力により環境型社会に貢献するとともに、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じて、持続可能な魅力ある企業を目指します。

お客さまのために

多様化・高度化するお客さまのご要望に対して、誠実・迅速・正確な仕事で、安心・安全・信頼をお届けします。

協力会社のために

公正かつ適正な取引を行い、パートナーシップの強化を図るとともに、安全衛生活動の促進に努め、快適な作業環境を提供します。

株主のために

公正かつ誠実な企業活動を実践し、経営の透明性と情報開示・情報提供を行い、企業価値の維持向上に努めます。

社員のために

安全で働きやすい職場環境を構築するとともに、社内コミュニケーションの活性化及び技術力の向上支援を推進し、生き甲斐のある企業を目指します。

地域社会のために

地域活動へ積極的に参加するとともに、地域の方とのコミュニケーションを促進し、地域社会の発展に貢献します。

地球環境のために

環境負荷の低減や環境汚染の予防など、地球環境との調和を図り、人と自然環境を 尊重した環境型社会の継続的な発展に貢献します。

6. 第十次中期事業計画 (2021年度~2023年度の3ヶ年計画)

第十次中期事業計画スローガン

「業務効率化と技術力向上により環境変化に対応し生産性向上を図ろう」

第十次中期事業計画では、各年度の業績目標を受注工事高120億円以上、完成工事高120億円以上とし、「業務効率化と技術力向上により環境変化に対応し生産性向上を図ろう」をスローガンに、デジタル化やインフラ整備に努めるとともに、社員の採用及び社員の育成を強化し、個人及び組織としての技術力向上を図ります。

そして、新型コロナ感染症やお客様ニーズの変化など、私たちを取り巻く環境の変化 に対応できる体制を構築し、生産性を向上させてより働きやすい環境を整えていくこ ととします。

事業戦略の基本方針

将来に渡り堅実に事業を継続していくために、下記基本方針に基づき3年で体質改善の基礎固めを行いながら、U字回復を目指します。

1. 個人が働きがいを感じる会社になる

- ・働き方改革
- ・ダイバーシティ
- •採用、育成

2. 多様なプロジェクトに挑戦する

- ・NTT、投資用ワンルーム以外の用途
- ・営業力強化 (トライ&エラー)
- NTT-FのBIM施策

3. 社会から認められ、お客さまから選ばれる会社になる

- ・企業価値の向上(ESG、SDGs)
- •安全、品質、技術
- I C T化
- ・無駄のない筋肉質な会社
- ・リスクヘッジ
- ・順法、コンプライアンス

今後更に安定した財務基盤を構築し事業を継続するためにも、事業の根幹である重大人身・人為事故の撲滅に向け、全社員が一丸となって取り組みます。また、採用活動を強化し社員の確保に努めるとともに、社員研修を積極的に実施し社員育成及び技術力の向上に努め、働きがいがあり技術者として力を発揮できる会社を目指します。

7. 第77期事業計画 (2021年度)

第77期事業計画では、業績目標を受注工事高115億円、完成工事高110億円とし、各組織は目標を達成するための重点施策を定め、具体的行動計画に取り組んでいます。

今期も、新型コロナウイルス感染症による影響を危惧しながらのスタートとなりましたが、ワーク・ライフ・バランス、働き方改革、新しい生活様式、といった多様な働き方への対応や、ICT環境の整備に取り組んでいます。旧態のアナログ文化を打破し、アプリケーションを活用したコミュニケーションの効率化や、タブレットやスマホを用いた図面管理や施工管理の更なる推進、事務作業のデジタル化といったICT技術の活用により業務効率を高め、働きがいのある会社を目指し全社員が一丸となり取り組むこととしています。そして、今後の新型コロナウイルス感染症による影響拡大を注視しつつ、計画的な受注活動、及び工事実施体制の確保に向け、各組織が連携し効率的な業務運営を展開しています。

また、当社における最重要課題は、重大人身事故・人為事故を起こさないことであり、トップから現場の一人一人までが安全を最優先し、常に組織の改善活動により安全文化のさらなる醸成を図ります。

目標を達成するための重点施策

- 1. 安全文化の さらなる推進
- 1) 無事故・無災害の達成
- 2) 安全活動の推進(安全品質ガイドラインの完全遂行)
- 3) 安全管理の向上と本社・支店間の連携強化
- 2. 品質の確保
- 1) 新規及び中途採用者の採用強化
- 2) 人材育成と技術力向上施策の推進
- 3) お客さまクレームの削減と重大契約不適合の撲滅
- 4) 工事検査の充実及び改善施策の推進
- 5) 品質管理の向上と本社・支店間の連携強化
- 6) 新型コロナウイルス感染症の再々拡大や 災害等による業務リスクの低減
- 3. 受注の確保と 領域の拡大
- 1) お客さまニーズを捉えた企画提案・お客さま支援
- 2) 非住宅系・非RC造建築の受注領域拡大
- 3) リニューアル分野における受注拡大
- 4) 応札に向けた工事選別と確実な受注
- 4. 効率的な業務運営
- 1) 業務効率化のためのデジタル化推進
- 2) 多様な働き方への対応と環境整備
- 3) 安定した工事実施のための協力会社の確保
- 4) 担当業務における効率化施策の推進
- 5. 財務基盤の確立
- 1) 利益改善及び利益率向上施策の推進
- 2) 事業収支管理及び管理の徹底

8. 品質保証

1) 品質管理パトロールの徹底

工事期間中の各種検査は、工事本部が実施した後に再度安全品質部が実施する2部による検査体制としています。また、外壁工事においては特別品質管理担当部長による施工計画への参画、試験施工立会、中間検査・完成検査への参画、及び足場解体時検査など、品質管理の強化に努めております。

なお、支店工事における主要工程は、本社安全品質部によるパトロールも実施し、 安全・品質の強化に努めております。

2) IS09001認証取得

1999年5月に本社にてISO9001を認証取得しています。 また、2015年版に対応した品質マネジメントシステム を構築し、維持することで次の事項を満たすことを目 的としています。

- a) 顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項 を満たした建物及びサービスを一貫して提供する 能力を持つことを実証する。
- b) QMSの改善のプロセスを含むシステムの効果的な運用と顧客要求事項・適用される法令・規制要求事項への適合及び保証を通じて、顧客満足度の向上を目指す。

3) 表彰状及び感謝状の拝受

当社は、「安全・安心・信頼」を基本に「品質の確保・保証」及び「無事故・無災害」に努め工事を実施しており、以下のお客さまから表彰状及び感謝状をいただくことができました。

本社

清水総合開発株式会社様より、ヴィークブライト高田馬場新築工事において、技術面で優れた施工にあたることにより高い品質の建物を竣工させることでヴィークブランドの信用・信頼の向上に寄与したことから「VIEQUクオリティ大賞」を受賞いたしました。



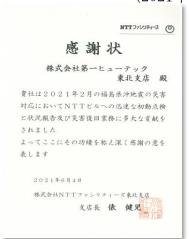




東北支店

株式会社NTTファシリティーズ 東北支店様より、2021年2月に発生し た福島県沖地震の災害対応における 迅速な初動点検及び復旧業務に対し て感謝状をいただきました。

(2021年6月)



関西支店

株式会社NTTファシリティーズ 関西事業本部様より、2020年度の建 築工事に際して人身・設備事故防止 に向けた自主的活動に精励したこと より感謝状をいただきました。

(2021年6月)



9. 安全文化のさらなる推進

1) 2021年度 安全衛生管理方針

①基本方針

人名尊重を基本とし、法令を遵守し、創意と工夫による労働災害及び健康障害 の防止と快適な作業環境の整備につとめる

- ②安全衛生管理目標
 - ・無事故・無災害の達成
 - 安全と健康の確保
- ③安全衛生スローガン

『見逃すな その場で摘み取れ 危険の芽 みんなで作ろう 0災職場』 - 継続しよう 一人ひとりのコロナ対策 ヨシ! -

④重点管理事項

- ・全ての安全を最優先に行動する安全文化の推進
- ・三大災害の絶滅に向けた安全活動の徹底
- ・通信災害の撲滅に向けた基本動作・基本設備の完全実施
- ・ 感染症対策の徹底 (新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症含む)

2) 安全衛生パトロールによる点検指導

無事故・無災害の達成に向け、各工事現場に対して安全品質部による月1回の安全パトロールを実施しています。2020年度は386回の点検を実施し「災害ゼロから危険ゼロへ!」と、安全先取り活動を推進してきました。

3) 安全衛生大会

今年の本社・名古屋支店・九州支店・関西支店の安全衛生大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とし、協力会社及び社員へ関係資料等を配布しました。そのため、例年本大会で行っていた各種表彰は行えませんでしたが、本社においては表彰を別途個別に行いました。なお、東北支店は規模を縮小し宮城県内の協力会社に限定し安全衛生大会を開催しました。

【各種表彰について】

① 安全衛生標語表彰

毎年、社員及び協力会社から安全衛生標語を募集し、最優秀賞に選ばれた作品を1年間の標語としています。今年は、698名の社員・協力会社から918件もの応募があり、その中から最優秀賞1点、最優秀次点3点、優秀賞6点を選び表彰を行いました。

2021年度安全衛生標語は、2021年度安全衛生管理方針の「安全衛生スローガン」としています。

『見逃すな その場で摘み取れ 危険の芽 みんなで作ろう 〇災職場』一 継続しよう 一人ひとりのコロナ対策 ヨシ!! -

② 安全優良作業所表彰

安全及び事故防止に対する取り組みが特に優れていた改修工事として、本社で 2作業所、東北支店で1作業所、新築工事で本社3作業所の計6作業所を表彰し ました。

③ 安全衛生優良協力事業者表彰

安全及び事故防止に対する取り組みが特に優れていた協力会社として、本社で 3協力会社、東北支店で3協力会社を表彰しました。

4) 安全衛生委員会

労働災害防止及び健康障害防止のため、産業医を含め安全衛生に関する総括審議を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、関係資料の配布及び連絡事項の周知といった方法で対応していますが、2021年6月には、新型コロナウイルス感染症をテーマとした委員会を開催しました。

5) 安全衛生協議会

協力事業者と、諸施策及び事故発生に備えた対策や救済等について、協議を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、現在は関係資料の配布及び連絡事項の周知を行い、協議会の運営を図っています。

6) グリーンサイトの導入

協力会社様から提出いただいている施工体制台帳/労務安全書類(通称:グリーンファイル)を正確かつ効率的に管理するために「グリーンサイト」を導入することとし、2021年9月から開始しました。

10. DXの推進

今回のコロナ危機は、社会経済活動に新たな変化をもたらし、社会全体のデジタル化を進めようとする機運が高まりました。建設業界では、従前からの深刻な人手不足も踏まえ、業務の効率化やデジタル化・ITインフラの整備が重要な課題となっています。当社においても、アプリケーションを活用したコミュニケーションの効率化や、タブレットやスマホを用いた図面管理や施工管理の更なる推進を図るとともに、業務のDXを推進しています。

1) 業務デジタル化推進に対する取り組み

効率的な業務運営の推進として、「デジタル化推進PT」を立ち上げて業務効率化のためのデジタル化推進に取り組むこととし、情報系システム・グループウェアの更新、社内業務のデジタル化システムの導入に向け取り組んでいます。

11. SDG s の推進

SDGs (Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標)は、17の目標と169のターゲット及び232の指標から構成され、2030年までに持続可能でより良い世界の実現を目指すことを目的としています。

SDGs が掲げる目標は幅広く、企業が取り組むべきことは多岐にわたりますが、17の目標は相互に関連し包括的に解決すべきもので、私たちの小さな選択がSDGs 達成に影響します。当社は、「社会から認められ、お客さまから選ばれる会社になる」ために、企業価値を向上させることで持続可能な社会の実現に貢献することを第十次中期事業計画の事業戦略で策定し、SDGs の目標の一つである「働きがいも経済成長も(持続可能な経済成長・働きがいのある人間らしい雇用の促進)」に注力し、以下の取り組みを推進します。

1) 多様な働き方への対応

「働き方改革」や「新しい生活様式」に対応すべく、週休2日制、時間外労働の削減、有給休暇の取得、シフト勤務、在宅勤務等について、今年度よりPTによる今後の実施体制について検討を進めています。

2) 若手社員の育成

今年度よりPTを立ち上げ、入社3年までの工事本部社員を対象に、若手社員によるアンケート調査やフォローアップ面談を実施し、ヒアリングやアドバイスを行っています。また、OJTやOFFJTの実施計画表を作成するとともに、計画的に研修・講習会への参画を積極的に展開し人材育成と技術力向上に努めています。

3) ハラスメントに対する取り組み

当社は、「ハラスメント防止方針」を定め、従業員就業規則にも禁止行為を明記するとともに、ハラスメント・人権問題、不正・不祥事、メンタルヘルス・健康相談、勤務等に関する相談等、社員が安心して幅広い相談できるよう相談窓口を社内及び社外に設置しました。

また、全社員を対象としたハラスメント研修により意識の醸成に努めています。

12. 情報開示・情報提供

1) ホームページによる情報開示・情報提供

当社は、お客さまの夢とニーズの実現を技術と 信頼でお応えし、人と環境に優しい社会の創造に 貢献する総合建設会社です。

ホームページの内容を日々更新し、最新の情報を皆様にお届けするよう努めております。建物用途別に当社が携わった完成建物紹介や、2022度新規採用情報、中途採用情報、社員紹介なども掲載していますので、ぜひご覧下さい。

また、2022年4月に向けてホームページのリニューアルを行うとともに、就職情報サイトを利用した採用活動の強化にも取り組むこととしました。

2) 決算公告

2016年度(第72期)から2020年度(第76期)の 決算公告(貸借対照表)をホームページにて掲示 しています。

3) 事業報告

当社は、定時株主総会終了後「事業報告」を作成し、主に当該年度の事業環境、財務諸表等を提供しています。



ホームページ: https://www.hutecc.jp

13. 雇用と人材育成

1) トップと社員とのコミュニケーション

年2回、経営トップが各工事作業所を巡回し、それぞれの社員と要望・意見等についてディスカッションを行い、社員の士気高揚と職場環境改善に努めています。

2) 資格取得の奨励

2020年度の主な公的資格取得者

一級建築施工管理技士 : 1名合格(コロナにより合格発表は2021年度)

二級建築施工管理技士 : 3名合格 二級建築士 : 1名合格

業務を遂行する上での技術力の維持・向上を図ることを目的に、資格取得者には、資格取得費用、資格取得奨励金、資格手当 を支給しています。

また、2021.4.1技術検定制度改正に伴い新たな各技士補も支給対象としました。

主な公的資格取得者数

一級建築士
一級建築施工管理技士
一級電気工事施工管理技士
一級管工事施工管理技士
3名
宅地建物取引主任者
18名
2名

3) 入社式・創立記念式典及び各種表彰

2021年4月1日には、コロナ禍のため出席者を限定した開催となりましたが、新入社員8名を迎え入社式を行うとともに、創立72周年記念式典を行いました。また、併せて以下の表彰を行いました。

①多年勤続表彰

多年勤続に対する功績として節目を迎えた社員20名を表彰しました。

②優秀工事賞の表彰

優秀な工事成果に対する功績を認めた 6作業所・社員5名に対し、優秀工事賞と して表彰を行いました。

③技術レポート賞の表彰

工事施工について極めて効果的であり、 会社の技術水準の向上に寄与した技術 レポートであると認めた社員6名に対し、 技術レポート賞として表彰を行いました。

④業務成績優良表彰

業務成績に貢献したとして、一連の工事に関与した受注・設計・積算・工事担当者を業務成績優良表として、表彰を行いました。

4) 職場における服装

環境省は、今年度より従来から推進してきたクールビズ及びウォームビズの地球温暖化防止及び省エネルギー対策について、各個人の判断や取り組みが大切であることから、期間を設けた一律の呼び掛けを取止めました。

これを受けて当社は、今後も節電及び環境への対策として継続実施するため、今年度より通年での職場の服装を、今までの慣例に倣った服装から以下のとおりとすることとしました。

- ① 社会常識を逸脱しない範囲で、社内外 の人に不快感を与えない服装
- ② 安全を考慮した服装
- ③ 事務室設定温度に対応した服装



入社式



多年勤続表彰



優秀工事賞表彰

14. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が国内で発生した以降、職場における感染予防対策を実施するとともに社員の健康管理を強化し、万が一社員が罹患しても業務が停滞しないよう、また工事進捗に支障が生じお客様へご迷惑をお掛けしないよう、2020年2月より各種感染予防対策を実施してまいりました。

現在、変異株に置き換わり予断を許せない状況にありますが、社員一同「新しい生活様式」の実践を徹底し感染予防に努めるとともに、業務リスクを考慮して全社員のワクチン接種を推奨し、接種日及び副作用を発症した場合には休暇を付与しております。緊急事態宣言下にあっては、在宅勤務のさらなる強化、シフト勤務制度枠を超えた時差通勤、作業所勤務社員の通勤手段の見直し、外食・飲食の自粛等を実施しています。

また、2021年6月には、事業継続計画(BCP)に「新型コロナウイルス感染症編」を追加作成し、「基礎知識編」として今まで各方面から出されていた情報を集約するとともに、①社員が感染した場合、②社員が濃厚接触者となった場合、③社員が感染者と接触したが濃厚接触者には該当しない場合、④社員が感染が疑わしい第三者と接触があった場合、⑤作業所における社員及び下請会社社員の対応、について具体的行動指針を再度取りまとめるとともに、社員が感染した場合の業務リスクを洗い出し、その間の対応方法と緊急時の体制を確立しました。

【発行にあたり】

本報告書は、当社の事業活動を広く開示することを目的に、2020年10月から2021年9月までの1年間の事業活動、事業収支額については2021年3月の決算値に基づき作成しました。

2021年10月発行

株式会社 第一ヒューテック 経営企画本部 TEL: 03-3359-8815 FAX: 03-3353-0067